

香南市産業振興計画
推進分野別部会からの報告書

● 農業部会	1 ページ
● 林業部会	6 ページ
● 水産業部会	12 ページ
● 商業部会	16 ページ
● 工業部会	21 ページ
● 観光部会	25 ページ

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画 農業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎石丸 典男	JA 高知県香美地区果樹部	出
2	○小松 哲	JA 高知県香美地区ニラ部会	出
3	橋本 治夫	香南市認定農業者連絡協議会	出
4	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会	出
5	白石 浩一	JA 高知県香美地区香美営農 経済センター(営農指導課)	欠
6	楮佐古 正志	高知県農業共済組合東部支所	出
7	矢野 広章	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課	出
8	山本 茂夫	香南市農業公社	欠

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	久武 正和	農林水産課	出
4	西岡 史詠	農林水産課	出
5	近藤 誠	企画財政課	出
6	刈谷 弘法	企画財政課	出
7	中島 貴也	情報政策課	出
8	府川 早苗	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会 (挨拶～自己紹介含む)
2. 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略「魅力ある香南市をつくるアンケート調査」結果報告
(企画財政課:刈谷主幹)
3. 前回の策定委員会(R4年度 第2回)でいただいたご意見やご提案について
4. 議 事
 - ・令和4年度の取り組みについて(総括)
 - ・令和5年度の農業分野の取り組みについて
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る支援策について
5. その他(今後のスケジュールについて)
6. 閉 会

○『令和4年度の取り組み』について【PDCA】

【P】（目標値）

- ◇ 令和4年度数値目標 : 『新規就農者数 10人 /年』
- ◇ 実績値（R4年度末） : 『新規就農者数 11人 /年』

【D】（取り組み内容）

- 関係機関が連携し、研修受入農家とのマッチング等サポートを実施。
研修中から就農までの計画等における支援を図ってきた。
- JA及び高知県中央東農業振興センターとの情報共有及び就農相談を行った。
- JA及び高知県中央東農業振興センターと連携し各種補助事業の周知を図り、活用につなげた。
- 新型コロナウイルスの影響もあり、県外イベントへの出展等の取り組みが十分にはできなかった。

<具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

◆担い手確保に向けた取り組み

- ・新規就農者総合対策事業や担い手支援事業などの国・県事業から活用を検討し、補助要件に満たない就農希望者も含め市単独事業でもサポート。幅広い事業の活用で担い手の支援を行ってきた。
- ・上記の事業実施により、ニラを中心にフルーツトマト、ピーマン、ナス、等の品目で担い手を確保。
- ・6月の市広報や、8月のアグリコレットでの就農相談会(れんけいこうち事業)にて事業の周知活動を実施。

◆経営改善・農地維持に向けた取り組み／◆農業生産基盤の充実にに向けた取り組み

- ・園芸用ハウス整備事業では新規就農者区分2件、流動化区分3件、高度化区分3件が実施されたが、ハウス資材の高騰もあり新規での建設希望者は減少傾向。今後は、中古ハウスの改修・移設(流動化区分)を中心に事業活用を促していく方針。
- ・環境制御技術高度化事業や重油流出防止付燃料タンク整備事業は、これまでの事業実績の積み上げにより、各種装置や設備の導入が進んできたため、直近の実績では目標値と実績値で乖離ができてきた。要望調査段階で事業ニーズの掘り起こしを行うことで、更なる事業の普及啓発を行っていく。
- ・法改正により人・農地プランの実質化から地域計画の策定に移行するため、市内20地区から18地区に再編成。これまでの人・農地プランの実質化に向けた地域との協議を活かしつつ、関係機関が連携し各地区の現状を再度把握していくこととし、地域計画策定に向けた体制整備を行った。

【C】（チェック/確認）

- モニターツアー事業については、新型コロナウイルスの影響が落ち着き、事業再開も検討したが、新規就農につながっていない現状と、受入れ農家の負担の声もあり事業は中止とする。
- ニラの販売力の推進として販売額16億円を目標(R4年度)に取り組んできたが、系統外出荷が多く、

産地全体の販売額の把握が困難。把握できる範囲で目標を再設定(下方修正)し、実績の推移による検証を行っていく。

- 山北みかんの加工品について、みかんバターの加工販売の事業継承(果樹女性部加工班→(株)山北みらい)の現状について再確認。引き続き農業所得の向上や地域活性化を目的に据え、新たな評価指標「加工用みかん販売平均単価」で状況を確認しつつ、加工品への取り組みを進めていく。

【A】 (アクション /改善)

- 新型コロナウイルスの影響により参加を見合わせてきた東京、大阪などで行われる新・農業人フェアをはじめとする就農相談会等に参加し、意欲ある就農希望者へ香南市をPRしていく。
- JA・高知県中央東農業振興センターと情報共有・連携し各種事業の周知を図るとともに、相談者それぞれのビジョンにあった支援を検討。研修段階からサポートしていく。
- 資材や燃料、肥料の価格高騰で依然として厳しい状況が続くが、国・県事業を含め複合的な事業活用の提案を行うことで、ハウス・各種装置・設備の導入や更新に向けてのニーズの掘り起こしを行う。
- 各地区で協議の場を設け、地域計画の策定に向け取り組みを進めていく。その中で、中心経営体への農地の集積・集約を行い、また、基盤整備事業については実施可否も含め地域との協議を行っていく。

○ R4 年度の取り組みについてのご意見やご提案

◇ 地域計画の策定について

- 市内 18 地区のうちR5年度の目標である 6 地区はどこか。(矢野委員)
 - まずは佐古地区から。その他はまだ具体的には定まっていないが、平野部の地区から進めていく方針としている。(事務局)

◇ ニラの販売額について

- 須崎や赤岡の青果市場に聞き取りを行うことで系統外出荷の販売額は把握できないものか。また、ニラ農家の確定申告などから算出できないか。(小松委員)
 - 以前にも聞き取りを試みたが、把握は困難。市場としてのニラの販売額は出たとしても、いくつもの地区から持ち込まれている中で香南市からの出荷分のみ抽出することができないとのこと。また、確定申告では品目が分からないため、それも難しい。(事務局)

◇ ニラそぐりセンターについて

- 作業が追い付いていないという話も聞くが、実際の運営状況について分かる範囲で教えてほしい。(石丸委員)
 - 100%系統外出荷の方も受入れるようになり利用者は増えている。ニラの特性上、どうしても夏場の持ち込み量が減り、その間にそぐりセンターを辞める方もいるため、秋以降で再び持ち込み量が増えたときに人員が足りないということがある。(小松委員)
 -

◇ 新規就農者について

- 親元就農の場合も含め、どうしても家庭の都合で担い手育成センターに行けないことがある。それにより補助事業が活用できなくなるが、その際のサポートはどうなっているか。(橋本委員)
 - 親元就農の場合、資料1の「担い手確保に向けた取り組み」の3-2.担い手支援事業(後継者育成支援区分)が担い手育成センターに行くことで活用できる国事業となっている。その要件に満たない場合は、同ページの5.農業後継者推進事業(市単独事業)で費用面でのサポートも行っている。(事務局)
- 新規就農関連の指標で数値目標がたてられているが、この数字以上の相談があった場合、予算がなくて補助事業を活用できないこともあるか。(橋本委員)
 - この数値目標と予算はイコールではない。相談の中で要件を満たしていれば事業を活用できるように調整していく。(事務局)

◇ 園芸用ハウス整備事業について

- 同じ場所でハウスを建て替える場合には活用できるか。(石丸委員)
 - 同じ場所での建て替えとなると、流動化区分(中古ハウスの改修・移設)に該当しないため活用できない。(事務局)

◇ 重油流出防止付燃料タンク整備事業について

- 目標 20 箇所に対しR4 年度実績 7 箇所。整備が進んだこともあり、今後も数字が伸びていくことは見込めないと思われるが、目標値の修正を考えたかどうか。(石丸委員)
 - 整備が進んだこともあるが、その一方で整備されていない箇所もまだまだあるため、現時点では、目標の下方修正は考えておらず、加温品目の部会に直接出向いて事業の周知を行うなどの取り組みにより、ニーズの掘り起こしから行っていく。(事務局)

◇ 農福連携について

- 各市で取り組みが始まっている。南国市でも就農に向けた体験会の開催などもされている。現状の産業振興計画でということではないが、次の機会には農福連携に関する指標も入ってくれば取り組みの強化にもつながるのではないか。(楮佐古委員)
 - 香南市でも農林水産課と福祉事務所を中心に研究会を立ち上げている。今後、進めていくにあたって他市の事例も含め関係機関の皆様にも情報提供などご協力もお願いしたい。(事務局)

◇ 有害鳥獣対策について

- R4年度の捕獲数ではかなり実績が上がっているが、駆除してくれている側からするとどういう状況か。銃猟に使用している銃弾なども価格が上がっているのではないか。(石丸委員)
 - 猟期に入る頃(11月)からイノシシを山で見なくなっている。豚熱の影響だと思われる。今春もタケノコの食害がかなり減っている。農業被害の面からすると助かっている。銃弾についてはウクライナ情勢の影響もあり高騰している。その中で、有害鳥獣捕獲報償金もR5年度より引き上げてくれているため、駆除する側にとってはありがたい。(百田委員)

○ 前回の部会や策定委員会でごいただいたご意見やご提案について

◇ 【重油・電気料の高騰について】 (R4年度 第2回 策定委員会より)

- 加温品目について重油・電気料の高騰が響いている。対策はないか。(石丸委員)
 - 「施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費補助金」および「施設園芸液化石油ガス高騰緊急対策事業費補助金」(ともに国事業)が設置されている。令和5年4月30日までの補償対象期間以降は未定であるため、国の動向には注視していく。(事務局)

◇ 【ハウス資材の高騰について】 (R4年度 第2回 策定委員会より)

- 資材の高騰によりハウスの建設に莫大な費用がかかる。これにより就農を諦める方も出てきている現状にどう対応していくか。(石丸委員)
 - 現状では、打開策となる特定の補助事業はないが、新規就農者に対する支援策やハウス関連の補助事業等を組み合わせ効果的に活用していただけるよう、農業振興センターやJAをはじめとする関係機関で連携を図りながら相談に対応していく。(事務局)

◇ 【みかんバターについて】 (R4年度 第2回 策定委員会より)

- みかんバターは継続してもらえるとということだが、その道筋はできているか。(福井委員)
 - 正式に(株)山北みらいが果樹女性部加工班より事業承継されている。現時点で、加工場も一旦は確保されているようだが、今後も利便性等の観点からより加工に適している場所を探していくと聞いているため、引き続き情報共有を行いながら今後の動向を注視していく。(事務局)

○ その他の取組について

特に意見なし。

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画 林業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎三谷 幸寛	香美森林組合	出
2	○公文 敬介	高知県中央東林業事務所 振興課	出
3	井上 美穂	公益社団法人 高知県森と緑の会	出
4	堀田 幸生	雑木バードカービング作家 森林環境学習講師	出
5	小原 忠	一般社団法人 高知県木材協会	出
6			
7			

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	久武 正和	農林水産課	出
4	児玉 亮太	農林水産課	出
5	藤岡 咲果	農林水産課	出
6	府川 早苗	商工観光課	出
7	刈谷 弘法	企画財政課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会
2. 挨拶(農林水産課長)
3. 自己紹介
4. 「魅力ある香南市をつくるアンケート調査」の結果について(企画財政課)
5. 議 事
 - ・ 令和4年度の取り組みについて(総括)
 - ・ 令和5年度の林業分野の取り組みについて
 - ・ 新型コロナウイルス感染症に係る支援策について
 - ・ その他
5. その他
 - 今後のスケジュールについて
6. 閉 会

○『令和4年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- ◇ 令和4年度数値目標 : 『間伐面積 40 ha /年』
- ◇ 実績値（R5.3月末） : 『間伐面積 35.9 ha /年』

【D】（取り組み内容）

間伐事業（保育・搬出間伐）

保育間伐 16.61ha(夜須町沢谷・羽尾、香我美町舞川)、搬出間伐 19.26ha(香我美町撫川)を実施済み。

<その他の具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

- 意向調査の実施 : 登記簿及び課税台帳の情報をもとに森林所有者へ調査票を送付し、地籍調査実施済みの夜須町細川地区(林班 36-1,2,3)で 54.4ha、地籍調査未実施の夜須町沢谷地区(林班 38-1,2)で 27.9ha を実施した。
- 森林管理制度森林境界明確化委託事業 : R2・3年度に意向調査を実施した夜須町仲木屋で香美森林組合に委託し、42ha 実施した。
- 木育事業 :
 - ① 木育イベントの開催(3回)
 - 7/31 木育指導員養成講座(参加者 7名)
 - 11/19 ファーストスプーン(参加者 10組)
 - 11/27 ファーストスプーン(参加者 11組)
 - ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施(6回)
 - 6/24 佐古小学校(万華鏡づくり)
 - 1/12 野市東幼稚園(竹コマづくり)
 - 1/27 赤岡保育所(竹けん玉、竹コマづくり)
 - 1/24 野市保育所(万華鏡づくり)
 - 2/13 夜須幼稚園(ひのき机づくり)
 - 2/15 野市東保育所(竹けん玉、竹コマづくり)
 - ③ 市主催以外の木育・林業関連のイベントの周知(2回)
 - 香南ケーブルTVと連携して放送中の番組「木育Baby」により、「香南市の森からの贈り物事業」を周知した。(R4年度出演者 10名)
 - 3/29 桜の植樹事業:博覧会関連記念植樹事業(牧野博士「らんまん」)実施
農林水産課窓口にイベントのチラシを随時設置。
 - ④ 香南市の森からの贈り物事業(1回)
 - 市内の乳児 208名に木製玩具を贈呈済。

- ⑤ 子育て支援センター及び市内の認定こども園等に県産材を活用した木製玩具を贈呈(1回) 7施設からの要望を取りまとめ、贈呈済み。

【C】 (チェック/確認)

間伐事業(保育・搬出間伐)

- 森林環境保全整備事業(保育・搬出間伐)において、12月時点で森林の間伐が途中までしか完了していない森林所有者がおり、その森林所有者の全ての森林面積が次年度の補助申請(実績)となることから、当初の目標面積を下回った。

【補足】

実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、令和4年度の実績としては、R4年1月～12月の間伐実施面積となる。事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請するため、実績が当初の目標値を満たせない場合がある。

【A】 (アクション /改善)

間伐事業

- 保育間伐(施業地調整中)及び搬出間伐(香我美町撫川)を実施していく。
- R5年度以降における野市町内での間伐実施に向けて林業事業者と意見交換をした上で調整を図る。

<R5年度の主な取り組み(資料1より抜粋)>

- 意向調査の実施
 - 引き続き、夜須町細川地区・沢谷地区で調査を実施。
 - ・ R4年度の調査対象地区において、回答が無かった及び戸籍等で探索が必要な森林所有者に対して、調査を実施する。
 - ・ 新たに細川(林班7-1,2,3,4)及び沢谷(林班39-1,2)で意向調査を実施する。
- 森林管理制度森林境界明確化委託事業
 - R4年度から意向調査を実施中の夜須町沢谷地区で約40haを実施する予定。
- 木育事業
 - ① 木育イベントの開催
 - ・ 図書館等でのファーストスプーンや木工教室等を開催する。
 - ・ 新たな取り組みとして、野市町大谷の「冒険の森」や企業と協定を締結した「協働の森」等をフィールドとした森林体験学習を開催する。
 - ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施

- ・ 所属長会での周知及び各保・幼・小・中学校に個別で事業提案し、実施に向けて調整する。
- ③ 木育事業全般に係る周知活動
 - ・ 引き続き、木育事業を広報や市 SNS を活用して周知していく。
 - ※R5 年度から取り組み名称を変更。
- ④ 香南市の森からの贈り物事業
 - ・ 市の広報や香南ケーブル TV と連携して放送している「木育 Baby」により、事業を周知していく。
- ⑤ 子育て支援センター及び市内の認定こども園等に県産材を活用した木製玩具を贈呈
 - ・ 市内の小・中学校に要望を募り、木製備品を贈呈する。

○ R4 年度の取り組みについてのご意見やご提案

◇ 意向調査について

- 地下水量の減少の対策として、今後、野市町内でも森林整備の実施に向けて意向調査を実施するとあるが、事業を周知する際に、一般の方が森林整備の大切さを身近に感じて貰うために、生活用水を守るための森林整備の必要性も交えて伝えていけばいいと思った。
 - 事業の周知や森林所有者への説明の際に取り入れていく。
- 地籍調査未実施と実施済みの森林を比較して、調査のしやすさ等に特徴はあるか？
 - 地籍調査実施済みの森林の方が登記簿上の情報が新しく、実際の所有者と一致している可能性が高いため、回答を得やすい傾向がある。

◇ 間伐事業について

- 県が整備した森林クラウドが開始されたが、森林組合や市としてどのように活用していくか？
 - 運用が始まったばかりで、勉強段階ではあるが、航空レーザー測量から得た森林資源情報（材積、樹種、林齢等）を意向調査や森林整備において活用していけると思う。森林組合としても、森林の地形の情報がわかるので作業道の開設や木材を搬出するシステムを検討する際に役に立つと考えている。
 - また、子どもたちに林業を知ってもらう際にも、このようなシステムを活用していることを伝えたら、興味を持って貰えるのではないかと思う。

◇ 木育事業について

- 市内の小・中学校に木製備品を贈呈する事業について、香南市外の学校で、技術系の学校の先生を講師に招き、木製備品の製作体験を実施している事例がある。学校側とスケジュールがあれば、実際に製作体験してもらうことで、高校進学の際に木製品の製作に関連する分野の学校への進学のきっかけにもなると思う。
 - 学校側のスケジュールや要望も踏まえて調整していく。
- 令和 4 年度に子育て支援センター及び市内の認定こども園等に木製玩具を贈呈について、地元

企業からの募金を活用しているが、現在の予算の範囲で各施設からの要望に対応できているか？

- 木製備品贈呈に係る予算については、各施設 3 万円を上限としており、その範囲内で調整していただいている。
- 森林環境譲与税は十分に活用できているか？
 - 令和 5 年度予算については、各課からの要望を取りまとめ、学校等の施設の木製備品の導入や、野市町大谷の「冒険の森」に木製遊具を導入する等、木材利用・木質化に力を入れており、R5 年度に譲与される額以上を支出する見込みである。
 - 地元企業からの募金を活用して、小・中学校に木製備品を導入する事業に譲与税を活用して、要望できる金額を増やすことは可能か？
 - 譲与税の使途としては、可能である。今後、状況に応じて活用していく。
- 林業に興味を持っていただけるように「林業」に関する授業を実施していきたい。
 - 学校側とスケジュールを調整していく。
 - 香美森林組合で所有しているタワーヤード等の高性能林業機械も香南市内の森林で活躍しており、その映像なども子どもたちの学習に活用していただきたい。
- 香美市物部町の香南市有林で協定を締結した「協働の森事業」に関して、どのように進めていくか？また、林業部会の取り組みと関連してくるか？
 - 間伐を実施していくと同時に、協賛いただいている企業の方との森林体験活動を実施していく。
林業部会の取り組みとの関連については、森林体験活動を地元の方を交えて実施することも検討しており、「①木育イベントの開催」の実績として計上することも想定している。
 - 協働の森については、その他に野市町大谷の県有林でも締結しており、それらも活用した木育イベントを実施していきたい。
- 農林水産課が主体で実施している保・幼・小・中学校での木育事業について、R4 年度までは、木育クラブ Puu を窓口とした補助金(全額補助)を活用していたが、廃止になったと聞いている。R5 年度はどのように実施していくか？
 - R5 年度からは高知県森と緑の会を窓口とした「山の学習支援事業(補助率 1/2)」を活用して、例年通り実施していく。

○ 前回、前々回の部会や策定委員会でいただいたご意見やご提案について

- ◇ 前回部会でいただいたご意見については回答済み。
- ◇ 前回策定委員会では林業分野への意見は無かった。

○ その他についてのご意見等

- ◇ 「魅力ある香南市をつくるアンケート調査」の結果について
 - 林業事業体としても、18歳未満の方を対象に林業の魅力を伝えていきたいと思うが、義務教育を終えた高校生に伝える機会を作るのが中々難しいと思う。
 - このアンケートも香南市内の小6、中3、18歳を対象にしており、小6、中3は学校にお願いして集計しているが、18歳については、個別にお願いしているので、集計率が低い傾向がある。
 - 働く場所の紹介の取り組みとして「水産業の紹介の教材を作る」とあるが、予算の範囲で可能であれば、農業や林業の内容も取り入れてはどうか？
 - 現状、教材を作る予定は無く、農業や林業については、体験活動を中心に子どもたちに魅力を伝えている。ただ、映像の教材があるとわかりやすいと思うので、今後、検討していく。
- ◇ 木材の需要について
 - 全国的にみて、新規に住宅を建てる「持ち家」ではなく、「貸し家」が増えており、住宅が建ちにくく、木材の需要が減っている傾向にある。
今後、木材需要を増やしていくために、民間企業の店舗等に木材を使ってもらえるように啓発・普及していくことが必要であり、木材協会や市、関係機関が連携していきたいと考えている。

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画 水産業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎中田 和伸	高知県漁業協同組合 手結支所長	出
2	○山下 太造	高知県漁業協同組合 赤岡統括支所長	出
3	本田 和仁	赤岡バッチ組合船主会 会長	出
4	野村 操	吉川町バッチ網船主会 会長	出
5	岡西 美延	手結地区漁業者(シイラ漁)	出
6	北垣 博則	(有)土佐角弘海産 ジャコ加工業者	欠
7	松崎 真哉	(株)サンシャイン介良 販売業者	出
8	土居 聡	高知県水産振興部中央漁業指導所 所長	出
9	山下 樹徹	一般社団法人 高知県漁業就業支援センター マネージャー	出
10	吉岡 みどり	(有)吉川水産 内水面養殖業者	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 大洋	農林水産課	出
2	川崎 大也	農林水産課	出
3	川西 貴祥	農林水産課	出
4	徳久 歩未	農林水産課	出
5	西岡 史詠	農林水産課	出
6	中島 貴也	情報政策課	出
7	刈谷 弘法	企画財政課	出
8	府川 早苗	商工観光課	欠

☆ 当日の流れ

6. 開会

7. 挨拶

8. 委員自己紹介

9. 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(企画財政課)

10. 議事

- ・令和4年度の取り組みについて(総括)
- ・令和5年度の水産業分野の取り組みについて
- ・新型コロナウイルス感染症に係る支援策について
- ・その他

11. 閉会

○令和4年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

- ◇ 令和4年度 目標値 : 『沿岸漁業総生産額 295 百万円 /年』
- ◇ 令和4年度 実績値 : 『沿岸漁業総生産額 253 百万円 /年』

目標数値である「沿岸漁業総生産額」については、目標値 295 百万円に対し、実績値は 253 百万円であったことから、取り組み評価は B とした。

【D】（実行内容）

【地産の強化】

◆生産基盤の充実

○水産機能施設の整備

吉川漁船修理場雨漏補修設計委託業務、吉川上架施設軌条改修設計委託業務、吉川荷捌所外壁補修設計委託業務を行い、吉川荷捌所外壁補修については工事まで契約したが、外壁の処分方法により工事一時中止を行ったため、令和5年度へ繰り越した。

3 施設目標に対し工事契約までの実績は 1 施設であるため C 評価とした。

○漁港施設の整備

水産基盤ストックマネジメント事業は住吉漁港 西防波堤は入札不調などが続き、施工方法の見直しを行っている。また、吉川漁港 -3.0 泊地の一部を浚渫した。

そのため、整備率は吉川漁港の浚渫を行ったが、一部であるため令和3年度と変更なしである。

◆漁業者の生産性向上

○沿岸漁業設備投資促進事業

漁船導入支援事業は 1 件の目標値に対し 1 件の実績があったため A 評価とした。

【流通・販売の強化】

○市内水産物の魚価向上

シイラ及びイワシシラスともに目標値を上回り A 評価とした。

(シイラ 144 円に対し 178 円、イワシシラス 375 円に対し 557 円)

○高知県漁協手結支所の販売額

R3 年度に自動真空包装機を導入したことにより、冷凍フィレ等の出荷量は増加し、県内飲食店への販売が拡大している。(R2 294 千円 → R3 1,583 千円 → R4 3,500 千円)

○シラス加工品販売額

目標値は設定しないが、引き続き関係機関の情報を収集し共有していく。

◆学校給食への納入

○学校給食等への納入(かちりじゃこ)

目標値 60 回に対し実績値 81 回(こうなん 42 回、赤岡・吉川 39 回)のため A 評価とした。

和え物等の複数の献立に使用されることもあり、目標値を大きく上回った。

○学校給食等への納入(シイラ)

目標値 23 回に対し実績値 27 回(こうなん 8 回、赤岡・吉川 27 回)のため A 評価とした。

R2、R3 は県内の養殖業を使用する県事業がありそちらを優先したが、R4 からはその事業がなくなったため、シイラの納入回数が大幅に回復した。今後も納入実績を維持していきたい。

【担い手の確保】

◆(一社)高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保

○担い手の確保事業

目標値 1 名に対し実績値 2 名のため A 評価とした。

R4 は雇用型漁業支援事業で 2 名を実施。

【C】 (チェック/確認)

○イワシシラスは、4 月、5 月及び夏頃に豊漁であったが、最盛期の 12 月から 3 月にかけて水揚げが少なかったため、単価が上昇したが、R3 年度の生産額までは届かなかった。シイラについては、R3 年度に比べると好漁であったが単価が伸びなかった。また、他魚種の水揚げを含めても手結支所全体では生産量は増加しているものの、生産額は昨年度と比べると減少となっているが、ほぼ同じ状況である。

○担い手確保事業については、雇用型漁業支援事業で 6 月から 1 名、11 月から 1 名の 2 名の支援を開始した。

【A】 (アクション /改善)

○観光協会や商業を連携し水産物の認知度向上に向けた取り組みを支援していく。

○イワシシラスの魚価向上に向けて加工品販売額の目標値設定は設定しないことになったが、魚価向上に向けて観光協会や商業と連携し向上に向けた取り組みを支援していく。

○ 令和4年度の総括についての意見等

【主な意見】

○沿岸漁業総生産額 295 百万円を目標にしており、実績が 253 百万円となっているが、この取り組みは目標を達成するための対策となっているか疑問が残る。事業説明の中で取り組んでいることは維持管理のことが多いように感じる。水産機能施設の整備であったり、漁港施設の整備であったり経年劣化した箇所を改修するのは当たり前ではないのか、沿岸漁業総生産額の目標達成を目指す取組とは思えない。

○今年の GW は外に出られる方が多くなり、スーパーの売り上げは前年を下回った。飲食店に向かう方が増えたように感じるし、連休(GW やお盆、年末年始)等では鮮魚が必要なタイミングで市場の休みもあり途中からは冷凍で対応した。

○ 今後の取組についての意見等

【主な意見・提案】

○令和4年度の意見に対しての提案であるが、デジタル化による水産業の発展を目指し、補助してもらえるようすべきでないか。バッチは2隻が同時に網を引くが、それぞれに魚探がついており、魚がいる方に向かうが、2隻が連絡取りあうとロスがうまれるため、その間に魚はいなくなる。デジタル化で行うとロスがなくなるため、生産額が増加するのではないかと思う。生産額向上のために補助や支援を調べて考えていくべきではないか。そのためには漁協や漁師と話をしてはどうか。

○スマート漁業やIT 入札も国が進めています。流通に関してもスラリーアイスを使用すると温度はマイナスとなるが凍らない。そうすると、連休等で必要な時に新鮮な魚が提供できる。

○コロナウイルス感染症等の影響に対する取り組みについて燃油等高騰緊急対策事業費補助金だが、県も R5 年度もセーフティネット加入者を対象に6月補正を行う計画がある。と聞いている。

○船団を組んで漁をするような専用の魚探もある。2隻3隻の魚探が親方のタブレットに情報が流れる。それがうる覚えだが300万~400万ほどしたと思われる。国は水産業スマート化で個人の方へ補助する制度を初めて作った。今年度はデジタル化推進事業という形である。県の方でも補正等で対応を進めている。

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画商業部会報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎福井 律	お菓子と雑貨 おひさん	○
2	○下元 裕樹	香南市商工会	×
3	近藤 洋好	旅館 かとり	×
4	門田 直也	(有)マルオカ	○
5	大濱 優衣	楽天生命	×
6	釣井 弘二	高知銀行 野市支店	○
7	横山 昌幸	高知県事業承継・引継ぎ支援センター	○
8	熊谷 紀子	高知県経営支援課	×

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	○
2	府川 早苗	商工観光課	○
3	小松 雅史	商工観光課	○
4	藤原 奈央	商工観光課	○
5	近藤 誠	企画財政課	○
6	刈谷 弘法	企画財政課	○
7	中島 貴也	情報政策課	○

☆ 商業部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶 商工観光課長 萩野 大輔

3. 議 題

- (1) 令和4年度の取り組みについて(総括)
- (2) 令和5年度商業分野の取り組みについて
新型コロナウイルス感染症に係る支援策について

4. その他

5. 閉 会

○『令和4年度の取り組み』について【PDCA】

【P】（目標値）

○令和4年度数値目標：『 商業者数 768 者 』
『 新規事務系企業数 2 企業 』

○実績値（R5.3月末）：『 商業者数 768 者 』
『 新規事務系企業数 1 企業 』

【D】（取組内容）

商業者数は、目標値768者に対して実績値768者と達成評価はAとなったが、昨年度実績値と比較すると9者の減となっており、今後も注視が必要。新規事務系企業数は目標値2社に対して、県と連携した活動展開により、1社の実績となった（高知市からの移転）。達成評価はCとなったが、首都圏企業についても、市と包括連携協定を締結しているイシン（株）が、3月23日に高知オフィスの開設を発表、令和5年4月1日付けにて開所をしている。

<具体的な取り組み(資料1より抜粋)>

○空き店舗活用に向けた取り組み

- ・商店街等振興計画については、11月29日に「香南市中心市街地活性化計画」を策定。計画に位置付けられた取組内容(案)を実行に移していくことができるよう、グループに分かれた打合せ等を順次進めているところ。
- ・空き店舗実態調査の実施については、未完了であった赤岡町、香我美町、夜須町における調査を実施し、現地調査については市内全域完了した。
- ・新規事務系企業については、県と連携した誘致活動を展開し、BCP対策にて移転を検討していたヤフー（株）高知センターの誘致に繋がった。首都圏企業の誘致活動については、イシン（株）と連携し、地方進出に興味がある企業とのオンラインによる面談等を継続して実施した。

○担い手の確保に向けた取り組み

- ・市の広報誌等を通じて、事業承継・引継ぎ支援センター等に関する情報提供を実施したほか、2月13日に「事業承継セミナー」を開催した。
- ・人材ニーズの掘り起こし及び発信については、令和2年度より取組ができていない状況が続いている。

○商業支援

- ・地場産品販売促進事業については、各種イベントへの出店等を積極的に行うほか、ふるさと納税に関しては掲載サイトを4社追加、楽天広告を活用する等により、PRに努めた。

<令和4年度新型コロナウイルス感染症等対策事業>

- ①香南市商工業者相談窓口事業
- ②香南市営業時間短縮要請協力金(第2期)
- ③香南市事業者支援給付金
- ④香南市原油価格等高騰対策給付金

【C】 (チェック/確認)

- ・空き店舗調査については、現地調査は完了したが、最終的な取りまとめには至っておらず、情報発信にまで繋がっていない。
- ・空き店舗等対策事業費補助金については、1件の実績のほか、活用相談が計9件あり。今年度も、既に1件の申請受付を行っており、その他にも数件の申請がある見込となっている。
- ・創業支援事業については、創業者数の実績は6名と目標値を達成しているが、創業支援事業計画に基づく認定件数は昨年度に引き続き0件となっている。今後も、商工会とも連携しながら周知を図っていく。
- ・住宅リフォーム補助金は利用率も高く、市内事業者の売上にも寄与していることから、令和5年度及び6年度においても引き続き事業実施予定(2年更新の事業となっている)。

【A】 (アクション /改善)

- ・商店街等振興計画については、「計画策定」を目標値としていたことから、令和5年度以降のKPIは、計画に基づくイベント開催数として(令和5年度:3回、令和6年度:3回)、取り組んでいく。
- ・空き店舗情報については、主都圏事務系企業向けに保有している情報(不動産会社が保有している情報を集約したもの)と併せて発信ができるよう、まずは取りまとめを行っていく。なお、「調査実施」を指標としていたことから、「空き店舗実態調査」の項目については令和4年度までで完了とするが、調査のとりまとめ等については引き続き進捗報告を行っていく。
- ・新規事務系企業については、オンライン会議や企業訪問により、継続した誘致活動を展開するとともに、空き店舗調査のとりまとめ等により、紹介できる物件数の充実を図っていく。
- ・人材ニーズの掘り起こし及び発信については、事業者よりニーズが聞かれた際にはハローワークに繋ぐ等、適宜対応は行うが、取組内容の項目としては廃止することとする。

○ 令和4年度の取り組みについてのご意見やご提案

【主な意見・提案】

◇事業承継に関する取組について

- 香南市における相談件数が、昨年度の13件から約2.5倍の34件となっている。うち22件は親族内承継であり、後継者がいない、廃業を考えている、という相談件数はほぼ横ばいとなっているため、そういった所から廃業者が出ている可能性もある。事業者の減について、深掘りが必要では。また、例えば70歳を超えた事業者を集中的に訪問する等、そういった取組が必要ではないか。

○ 令和5年度の商業分野の取り組みについての意見等

【主な意見・提案】

◇原油や物価等の高騰について

- 商品を少し値上げした位では追いつかない程、資材等が高騰している。そういった部分をカバーできるものがあれば。
- 業種によっては、全ての値段が上がっているような状況。農家の方からも、原油高騰により、燃料代が負担になっているという話も聞く。
 - 今年度も、国より臨時交付金が一定額配分される状況となってきている。他分野も含めての検討にはなるが、予算の範囲内で資材高騰等に対して有効に活用できるような施策も、進めていけたらと考えているところ。

◇セミナーの開催について

- (融資等のあり方も変わってきている中で)香南市にある企業を伸ばしていく、育てていくことも事業承継等に繋がっていくと思うので、金融機関の方を講師とした勉強会を開催するというのもいいのではないか。
 - 市内企業の育成支援という観点で、サポートにも繋がるようなものとして、金融機関を講師としたセミナーの開催も検討していく。

○ その他についてのご意見等

◇デジタル化について

- デジタル化推進と産業振興計画の各部会との連携等についての進捗状況は。
 - 機構改革に伴い、今年度より情報政策課が立ち上がっており、デジタル化の推進に向けた計画を策定することとなっている。庁舎内の効率化、市民向けのサービス、事業者向けのサービスといったような取組についても、今後それぞれの内容を協議していこうという流れ。各店舗の販路開拓や魅力発信に繋がるような事業として、「企業魅力発信動画制作支援事業費補助

金」という支援策もあるため、適宜情報提供していただきたい。

- 情報政策課としても、これからも各部会に参加させてもらい、個別の課題に対する検討、情報提供などに取り組んでいけたらと考えている。

◇部会資料、会の進め方等について

- やっていない事業は外す等、無駄は省いていった方がいい。事業数がかかなり多いので、的を絞った議論がしにくい。例えば、「今日は“事業承継”について議論しましょう」等にすれば、もっと深い話ができるのではないかな。

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画工業部会報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN株式会社 総務課長	○
2	○吉田 元雄	香南市商工会 工業部会長	○
3	五島 一成	株式会社精工 高知工場 工場長	×
4	石川 幸広	四国職業能力開発大学附属 高知職業能力開発短期大学校 能力開発部長	○
5	田村 知之	公益財団法人高知県産業振興センター 地産地消・外商推進部 外商課長	○
6	森田 清史	香南市商工会 経営指導員	×
7	高山 享之	丸三産業株式会社 香南工場 工場長	×
8	北 泰子	高知機型工業株式会社 取締役 副社長	○
9	岡林 一夫	丸三産業株式会社 高山委員代理出席	○

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	○
2	府川 早苗	商工観光課	○
3	藤原 奈央	商工観光課	○
4	楠瀬 貴也	商工観光課	○
5	小松 雅史	商工観光課	×
6	近藤 誠	企画財政課	○
7	刈谷 弘法	企画財政課	○
8	中島 貴也	情報政策課	○

☆ 工業部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶 商工観光課長 萩野 大輔

3. 委員自己紹介

4. 議題

- (1) 令和4年度の取り組みについて
- (2) 令和5年度の工業分野の取り組みについて
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する支援策について

5. その他

6. 閉 会

『令和4年度の取り組み』について【PDCA】

【Q】（目標値）

数値目標	年度	基準値 <small>※R1年度実績</small>	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344	380	-					
	達成 (評価)	B	B	A	-					
新規雇用者数 (人)	目標値	-	5	8	19	16	15	63		市内立地企業に新たに雇用された市内在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2、R3年度の実績に 齟齬 があり修正。
	実績値	-	21	29	14					
	達成 (評価)	-	A	A	B					

【D】（実行内容）

数値目標である製造品出荷額 400 億円に対し、令和3年工業統計調査結果が未だ公表されていないことから、令和5年4月現在の評価は示していない。

令和4年7月には、YAMAKIN(株)が本社を大阪から当市に移転し、11月には中土佐町大野見より香南市に移転した(株)ミツトヨが操業を開始しており、新たな雇用の場や製造品出荷額の増加に繋がる明るい話題もあった。

また、もう一つの数値目標である新規雇用者数については、令和5年3月31日現在で14人の新規雇用となり、評価はBとなった。

数値目標達成に向けた取り組みは以下のとおり。

○企業誘致の促進

- ・新規工業団地整備事業については、再検証の結果、事業中止になり、地権者や関係機関に説明会を開催した。
- ・香南市企業立地促進事業費補助金については、補助金申請のあった2社ともに新工場が完成し、操業を開始している。また、企業説明会・面接会を開催し新工場での雇用の促進に努めた。

○既存企業の育成・支援

- ・市内事業者への原油価格高騰対策として「原油価格等高騰対策給付金」を実施し、各種支援事業とあわせて企業訪問等で周知を行った。
- ・令和4年5月に城山高校の新3年生、令和5年2月には2年生を対象として、合同企業説明会を行

った。また、令和4年9月には県主催の合同企業説明会を開催した。

・令和3年度に新型コロナウイルス感染症の影響で見送られていた、工場見学ツアーを開催し若者の地元定住に繋がる取り組みを実施することができた。

【C】 (チェック/確認)

○企業誘致の促進

・新規工業団地整備事業については、宅地造成事業との一体的な計画で進めてきたことから宅地造成事業の中止決定により、工業団地のみ事業を進めることは、進入路や排水等の問題で関係者に同意を得られることが非常に難しく、両事業ともに中止することとなった。

・香南市企業立地促進事業費補助金については、補助金申請のあった2社ともに新工場が完成し操業を開始したが、補助金交付要件となる新規地元雇用者が予定人数に達していないため補助金の交付には至っていない。

○既存企業の育成支援

・ものづくり教育推進事業(工場見学ツアー)では半日に3社を見学するというタイトスケジュールになったことが課題として挙げられた。また、各種支援事業については、物価高騰の影響による設備投資の抑制や、企業訪問などによる事業の周知が足りておらず、補助金利用件数の増加に繋がっていない。

・令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響を受けておらず、予定通り商談会を開催できている。また、城山高校の2.3年生を対象とした企業説明会や、県主催の合同企業説明会を開催することで、人材確保の支援に努めた。

【A】 (アクション /改善)

○企業誘致の促進

・新規工業団地整備事業については、代替えとなる候補地が無いことから、現在のところ新規工業団地の整備は考えていないが、引き続き産業用地となり得る遊休地や工場跡地、空き工場等の把握に努め県とも情報共有を行いながら企業立地の促進に向けた取り組みを進める。

・香南市企業立地促進事業については、引き続き工場の新設を予定している立地企業の設備投資支援を行うとともに、企業説明会や面接会を支援開催することで、地元雇用の促進に繋げる。

○既存企業の育成支援

・今後も企業訪問等を行い、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努めるとともに、アフター・コロナに向けた各種支援事業の紹介を行うことで既存企業を支援していく必要がある。

○ 令和4年度の工業分野の取り組みについての意見等

【主な意見】

◇未来人材育成奨学金返還助成事業について

- ・工業分野だけでなく他分野において、広報活動を強化していき利用促進を図る。
- ・企業説明会や社内研修等でのリクルートの際には、引き続き企業側も周知・活用していく。

○ 令和5年度の工業分野の取り組みについての意見等

【主な意見・提案】

◇ものづくり教育推進事業について

- ・将来的には長期的に計画を立てて、中学生や高校生以上等に参加対象の幅を広げる検討をしていただきたい。
- ・ものメッセ KOCHI での工場見学や高知職業能力開発短期大学校でのものづくりフェスタ等の場所でPR等を協力して行っていき、教育の部分でアプローチし産業の振興につなげていく。

◇城山高校合同企業説明会について

- ・高知職業能力開発短期大学校の先生や生徒の参加が可能であれば、企業説明会の中で体験談や実績等を紹介していく。

◇工業団地付近のインフラ関係の整備について

- ・現状、スーパーや飲食店等の整備はすぐには難しいと思うが、飲食店等の情報が掲載されたパンフレット冊子の配布や紹介等、協力できるのであればお願いしたい。

◇久喜谷工業団地の周辺環境の整備について

- ・BCP 対策として、工業団地の橋梁の道幅等や法面部分の草木の伐採等について、大規模災害に備えて進められるのであれば関係課と検討していただきたい。

○ 新型コロナウイルス感染症に係る支援策について

【主な意見・提案】

- ・特になし

部会開催日：R5.4.25(火)

令和5年度 第1回 香南市産業振興計画 観光部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎梶原 英正	井上ワイナリー株式会社 香南市観光協会	出
2	○中西 洸太郎	絵金蔵	出
3	堀田 幸雄	高知県立のいち動物公園協会	欠
4	弘瀬 沙也香	香南市観光協会	出
5	高橋 真紀子	香南市商工会	出
6	岡林 順子	創造広場「アクトランド」	出
7	阪部 一仁	(株)ヤ・シィ	出
8	永野 裕介	土佐くろしお鉄道株式会社	出
9	濱中 秀彦	リゾートホテル海辺の果樹園	出
10	濱渦 ゆかり	物部川 DMO 協議会	出
11	大崎 優	高知大学次世代地域創造センター 高知県サイクリング協会	出

	氏名	所属	出欠
1	萩野 大輔	商工観光課	出
2	府川 早苗	商工観光課	出
3	中屋 亜希子	商工観光課	出
4	平尾 智美	商工観光課	出
5	近藤 誠	企画財政課	出
6	刈谷 弘法	企画財政課	出
7	中島 貴也	情報政策課	出

☆ 観光部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶 商工観光課長 萩野 大輔

3. 委員自己紹介

4. 議題

- (1)令和4年度の取り組みについて
- (2)令和5年度の観光分野の取り組みについて
- (3)新型コロナウイルス感染症に関する支援策について

5. その他

6. 閉 会

○『令和4年度の総括』について【PDCA】

【P】（目標値）

数値目標	年度	基準値 <small>(前年度)</small>	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成(達成 度合)	備考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	569		観光庁の「観光客入込客統計に関する 共通基準」に該当する下記対象施設の 入込客数。 (暦年 1-12月の合計) 【対象10施設】合計:1,022,932人 ①県立のいち動物公園 205,675人 ②月見山子どもの森 28,248人 ③ヤ・シィパーク 294,788人 ④絵金蔵5,980人 ⑤天然色市場 40,963人 ⑥やすらぎ市 202,837人 ⑦あぐりのさと16,124人 ⑧黒潮温泉 100,597人 ⑨創造広場「アクトランド」59,750人 ⑩土佐カントリークラブ 67,970人
	実績値	104.5	90.7	96.2	102.2					
	達成 (評価)	B (※11 施設)	B	B	B					

※第1期(H27-R元)は備考欄10施設に加え、香南市サイクリングターミナルの宿泊以外の利用者数を計上。

【D】（実行内容）

観光施設入込客数は目標値 114 万人に対し実績値 102.2 万人であり、達成率 89.6% (対前年比 106%) となり評価は B となった。

数値目標達成に向けた取り組みは以下のとおり。

○情報発信手段の効果的な活用

- ・日曜日、高知新港での PR を実施。
- ・HP での特集ページや SNS での発信を積極的に行い、誘客に努めた。

○核となる観光拠点の形成

- ・ヤ・シィパークでは様々なイベントが実施され、バーベキューサイトの屋根を整備、地域情報センター等の塗装されたことで受入環境が改善された。
- ・mana*mana では、新規取引先が決定した。
- ・三宝山エリアでは井上ワイナリー株式会社のいち醸造所がグランドオープンし、イベントの実施や他事業者との連携した商品開発などを実施した。

○広域観光の推進

- ・平和学習、防災教育といった教育旅行商談会や台湾観光商談会などへ参加し、誘客につなげた。
- ・ユニバーサルビーチ、ものべがわフェスタ、ものべおしごと体験博などの事業を実施し、物部川流域への集客を促進した。

○スポーツツーリズムの推進

- ・健康サイクリングやタンDEM自転車講習会を実施したが、雨天中止のイベントもあり参加数は伸びなかった。
- ・塩の道を活用したイベントでは、募集人数より多くの応募があり、県外からの参加もあった。
- ・マリンスポーツでは、新型コロナウイルス感染症の緩和もあり、利用者が増加した。

○おもてなしの向上

- ・香南市案内人会の会員増加の取組がコロナ禍により実施できなかった。
- ・インバウンドの回復に向けて、外国人観光客受入研修では2回実施し、多くの事業者が受講した。
- ・アンケートを継続し、協力団体と結果を共有できた。

○その他

- ・コロナ対策の取り組みとして香南いこいこキャンペーンを実施し、70,895人が利用した。
- ・自転車のまち香南市のPRとして香南市わくわくクーポンキャンペーンを実施し、レンタサイクルした自転車で香南市内の周遊を促進し、940人がクーポンを利用した。

【C】 (チェック/確認)

観光施設入込客数は目標値114万人に対し実績値102.2万人であり、達成率89.6%(対前年比106%)となった。

【A】 (アクション /改善)

○情報発信手段の効果的な活用

- ・日曜日や高知新港へ参加し、外国人観光客へ外国語パンフレットを配布し誘客を図る。
- ・特集ページや発信方法を工夫し、ファンの維持及び増加に努める。

○核となる観光拠点の形成

- ・受入環境が向上したピクニックサイトやレンタサイクル施設のPRし、誘客を図る。
- ・地産外商を積極的に行い、県外にPRしていく。

○広域観光の推進

- ・教育旅行を積極的に誘致し、周遊促進につなげる。

○スポーツツーリズムの推進

- ・イベント内容を見直し、参加者数増加を図る。
- ・宿泊につながるような大会開催に努める。

○おもてなしの向上

- ・回復傾向にある外国人観光客の受入環境の強化を行う。

○その他

- ・香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンを実施し、「自転車のまち香南市」のPRと自転車による周遊観光の促進を図り、市内事業者へのクーポン利用を促す。

○ 令和4年度の取り組みについての意見等

【主な意見】

◇目標値について

- 実績値で見ると目標値を達成できていない項目がある。目標設定が高いのかといった議論が必要ではないか？
- ▷目標を外的要因によりどうすることもできないものは外した方がプロセスを結果にできると思う。
- ▷イベント参加数なら全体の目標値になっているが、個々のイベントにおいて達成できているか見ていくこともできると思う。目標値設定の変更ありきではない。

◇SNSの発信について

- SNSの発信は労力がかかり、見た人が実際に来ているのかわからない。
- ▷知ってもらうには大事であるが、労力がかかり、休止しているツールもある。
- ▷お金をかけずに労力をかけるイメージである。
- ▷インバウンドを考えるとインスタグラムやフェイスブックで情報発信を行うことが必要だと感じる。また、やるからには継続して発信していかないと観光に力を入れていないと感じられる。届けていくのは大事。

○ 令和5年度の観光分野の取り組みについての意見等

【主な意見・提案】

◇周遊花めぐりバスについて

- 3月に運行した際の利用者はどのくらいか？
- ▷天候不順や花の咲き具合から利用者は136人となった。今年度は時期など改善しながら行う。

○ 新型コロナウイルス感染症に係る支援策についての意見等

【主な意見・提案】

- ・特になし